

名前：

-①-

インターネットが普及した現在、新聞や雑誌が必要であるのかと問われれば、おそらく社会には必要としなくなるだろう。と私は答えるだろう。

というのも、情報伝達において、紙に印刷して配るよりネット上で情報を配信してしまいう方が、情報を伝える側のコストも受け取り側のコストも明らかに都合が良いと言えるだろう。

の利点としては、伝える側の情報の伝えやすさ、それはかなり高い。情報更新頻度の高さがある。新聞や雑誌のあいとは、文面・構成を考へて印刷し、一家一家に配達する。もしくは書店に置くという手間がかかる。一方、インターネットを使用する方は、文面・構成を考へず手間もかかり人にかかるにしろ、後はサイトに上げてしまえばそれだけのことから新聞や雑誌の比べで楽である。

そうであるからして、更新頻度は新聞・雑誌と比べ非常に高くなる。一日の朝夕配信

される新聞や雑誌等には比べる必要頻度は高くないと言えるが、それでもインターネットにはかなわない。例之は、大リーグで松坂が投球するとしても、新聞で伝えている情報は、数時間前のもので試合結果などではない。インターネットで伝えている情報は、インニング毎の情報はもちろ人、今現在のカーン・走者の有無、果ては松坂の投げる一球一球の判定まで、各人の数分前におこった事に対しては伝達するに比べてきつ。

受け取り側の利点としては、なるべく新しい情報を、なるべく早くに受け取れることにある。このことは、上記の松坂の例より明らかである。その上、もう一つ大きな利点は、コストの面である。伝える側の利点として書いた通り、新聞・雑誌の作成には大いに手間がかかる。その分人件費もかかる。そして印刷するための印刷代、紙代もかかる。一方インターネットではそれらの手間がかからないため人件費はおさえられる上、もちろ人印刷代

1800字

も か か じ な い 。 二 の 二 と ち 利 用 方 じ 側 も 情 報
を 家 に 利 用 し て き ます 。 二 と ち 意 味 有 り 。

こ の 二 と ち へ 関 心 有 り 。 私 は 新 聞 や 雑 志 で 社 会 性
の 要 求 し な くな る だ ろ う と 思 っ 。